



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)5月25日号 No.1661

目次

■ 2015年1～3月のロシア経済	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2015年6月号のご紹介	10
■ モスクワほっとニュース	11
便利！モスクワのタクシー事情／11	
■ エトセトラ	12
ラウンドテーブル「日本とロシア:ビジネス協力の展望」／12	
■ トピックス	12
製茶の福寿円、ロシア進出へ／12	
東海商事、サハリンに寒冷地向け設備供給／12	

2015年1～3月のロシア経済

はじめに

ロシア連邦統計局、および、同関税局より2015年1～3月のロシアの主要経済指標と対外貿易高が発表されたので、本速報ではこれらデータを図表にまとめてご紹介する。

ウクライナ問題、原油価格、ルーブル・レートの暴落など、ロシア経済は混乱が続いている。しかし最近になって、国際通貨基金がロシアの2015、2016年の経済成長率予測を引き上げるなど、ロシアの経済危機に変化の兆しが見られる。また、経済指標の好転を受け、I.シュヴァロフ第1副首相は、「常に危機のことを引き合いに出すのは、もはや適切でない。発展へと重点を移すべきだ」と述べ、危機終息宣言とも受け取れる発言を示している。

主要経済指標

ロシア連邦統計局の発表によると、2015年1～3月のGDP成長率は速報値で1.9%の減少となり、2009年以来のマイナス成長となった。なかでも固定資本投資は2013年から減少が続いており、とくに2015年1～3月は下げ幅が大きくなった。鉱工業生産は前年同月比0.4%の微減に留まったが、部門ごとにばらつきがあった。生産が減少したのは軽工業、輸送機器、機械・設備などで、他方、生産が増加したのは化学工業製品、食料品などであった。

製品別の生産動向をみると、鋼管(前年同期比18.1%増)を先頭に食品(16.0)、化学肥料(9.7%)など好調だったものも多いが、乗用車(19.7%)など大きく業績を落とした製品もあった。